



# 鴻巣西中通信

学 校 だ よ り

鴻巣市立鴻巣西中学校  
鴻巣市大間1161番地  
令和3年6月1日

第3号

## 「自分の力を最後まで絞りました」<sup>しほ</sup> ~地獄を見た照ノ富士の境地~

校 長 服 部 幸 司

6月を迎え、いよいよ朝練習も再開し、3年生最後の大会、学校総合体育大会班大会が6月9日から各会場で開催されます。

最後の大会、敗れること<sup>やぶ</sup>で終わりを告げられることのなかった昨年度の卒業生のことを考えると、生徒には大会を経験できる幸せを感じながら思う存分に力を発揮し、練習の成果を上げてもらいたいと願うばかりです。



「大会を経験できる幸せ」<sup>たど</sup>に辿り着くのか、否か、<sup>も</sup>気を揉む毎日が続くのがオリンピック選手達です。テレビなどの報道で聞くのが、そんな選手達の今の今の状態です。「オリンピックを開催すべきか、開催すべでないか、それは私たちが答えることではないと思います。私たちは、開催された時に、最高のパフォーマンスができるように準備をするだけです。それが家族を含め、今まで支えてくださった方々への礼儀だと思ひます。」



ほとんどのアスリートが、言い方は異なりますが、このような内容のことを国民に伝えてあります。ある程度以上の資質を与えられ、磨き、1つの道を極めようとしているオリンピック選手は、やはりここまでの境地に達するのだな、と感心します。と同時に、この1年と数ヶ月、自分自身の生き方を問われるような厳しい感染状況の中で、このような境地まで達することができなければ、オリンピック選手にはなれないのだな、とも感じます。

1つの境地と言え、先日の大相撲夏場所千秋楽で2場所連続、4度目の優勝を果たした大関照ノ富士の優勝インタビューです。優勝直後の、多くの国民が注目する両国国技館で、

- アナウンサー 「来場所は横綱昇進に挑む場所になるが、横綱とはどんなものか。」  
 照ノ富士 「なりたいて言っって、なれることでもないし、だから経験してみて、できたらできたでいい。できなかったらできなかったでいいので、一生懸命がんばって、『最後まで自分の力を絞りました』と言っって、胸張っって歩きたいです。」  
 アナウンサー 「来場所に向けてどんな努力を重ねていくのか。」  
 照ノ富士 「今まで通りやっっても駄目だと思っるので、これ以上に努力していききたいと思っっています。」

<sup>あらかじ</sup>予め用意していた言葉ではなく、<sup>や</sup>気負い <sup>か</sup>かっこつけもなく、自然に、普段思っっていること、信じていること を素直に語る照ノ富士の一言一言だったのです。

6 / 9 (水)からの学校総合体育大会班大会、西中生には、多くのオリンピック選手のように、「感謝」の気持ちをもっって臨み、戦いの後には、照ノ富士のように「最後まで自分の力を絞りました」と言っって、胸を張っって帰っってきてほしいと思っっています。



pixta.jp - 55613489